

名古屋大学の講師対応報告

名古屋自然保護官事務所は、10月19日に名古屋大学の学生が稲永ビジターセンターに来館した際の講師対応を行いました。

今回の来館は昨年に引き続き2回目となるもので、名古屋大学の共通教育の理系教養科目「動植物の科学」の講義の一環として藤前干潟の生き物等を学ぶことを目的としていました。

今年も昨年同様に、講義、館内見学、野鳥観察というスケジュールで藤前干潟について紹介しました。講義は、「藤前干潟の歴史と生物多様性」というタイトルでスライドを用いて行い、藤前干潟周辺で漁業が行われていた頃から埋め立て計画中止までの歴史と現在の保全活動、そして藤前干潟に生息する生き物等について解説しました。その後、稲永ビジターセンターの見学を行い、最後に名古屋市野鳥観察館にて望遠鏡で野鳥観察を行いました。当日は曇りでしたが、スズガモやハマシギ、カワウ、ダイサギ、ミサゴなどの野鳥をじっくり観察することができました。

◆概要◆

実施日時：平成 25 年 10 月 19 日（土）10:00～12:00

場所：稲永ビジターセンター、名古屋市野鳥観察館

対象：大学2年生等（計10名）

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

◆来館スケジュール◆

時間	内容	場所
10:00～	講義	稲永ビジターセンター
11:00～	館内見学	稲永ビジターセンター
11:20～	野鳥観察	名古屋市野鳥観察館
12:00	終了・解散	

◆講義内容◆

タイトル	藤前干潟の歴史と生物多様性
1.	干潟とは
2.	藤前干潟を紹介した映像鑑賞
3.	藤前干潟の位置
4.	藤前干潟の歴史
5.	ラムサール条約とは
6.	藤前干潟の生物多様性 生息する底生生物と鳥類の紹介
7.	課題と保全活動



←講義の様子



センターの見学→



←野鳥観察

2013年10月23日

名古屋自然保護官事務所 アクティブ・レンジャー 野村

名古屋自然保護官事務所では、藤前干潟などの生き物のおもしろさや、大切さ、環境保全へ興味を抱くきっかけとなるような出前講座を行っていきたくと思います。興味関心のある方は、名古屋自然保護官事務所まで気軽にお問い合わせください。

■名古屋自然保護官事務所の連絡先■

TEL : 052-389-2877 FAX : 052-389-2878 MAIL : WB-NAGOYA@env.go.jp

* 藤前干潟の HP <http://chubu.env.go.jp/wildlife/fujimae/index.html>